

事務事業名		博物館教育普及事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間	
	施策名	25 生涯学習の推進				
	基本事業名	02 市民の学習活動への支援			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 58 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		博物館法				
所属	部課名	教育委員会博物館				
	係名	博物館	電話	29-2161	01 10 05 06 12	
			内線	—		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・博物館資料や気仙地域の自然と文化について普及する事業。 ・主な業務は、①体験学習・自然観察の実施、②生涯学習相談・専門研究への対応、③各種実務体験(博物館実習・職場体験・社会体験等)の受入、④学校教育との連携、⑤博物館講座(成人大学講座)の実施、⑥小学生向け「博物館スクール」の実施、⑦博物館交流の実施(他市町村の博物館での学習活動)、⑧博物館職員派遣の実施、⑨所蔵資料の特別利用、⑩個人所蔵資料燻蒸サービスの実施、⑪インターネット情報検索用パソコンの供用。 ・事業費は、自然観察会等の講師謝金、各種消耗品、博物館交流用バス賃借料などに支出される。						
全体計画(※期間限定複数年度のみ)					総投入量(千円)	事業内訳
					事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0
					人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0
					トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 「博物館であそぼう!紙粘土工作会」、生涯学習・専門研究への対応、博物館交流バスツアー、収蔵資料の特別利用、個人所蔵資料燻蒸サービスなど  今年度計画(今年度に計画している主な活動) 地質観察会、体験学習会、生涯学習・専門研究への対応、各種実務体験の受入、博物館講座(成人大学講座)、博物館スクール、博物館交流、各種研修会への職員の派遣、収蔵資料の特別利用、個人所蔵資料燻蒸サービスなど  ② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民  ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 教育普及事業を通して、気仙地域の自然と文化について学ぶことができる  ④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 主体的な学習活動が行われている	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 博物館スクールの実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 生涯学習相談の対応件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ 博物館職員の派遣回数</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table> ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 普及事業への参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 博物館スクールの実施回数	回	イ 生涯学習相談の対応件数	件	ウ 博物館職員の派遣回数	回	名称	単位	カ 人口	人	キ		ク		名称	単位	サ 普及事業への参加者数	人	シ		ス	
	名称	単位																							
	ア 博物館スクールの実施回数	回																							
	イ 生涯学習相談の対応件数	件																							
ウ 博物館職員の派遣回数	回																								
名称	単位																								
カ 人口	人																								
キ																									
ク																									
名称	単位																								
サ 普及事業への参加者数	人																								
シ																									
ス																									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="7">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(目標)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>38</td> <td>55</td> <td>100</td> <td>60</td> <td>100</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>38</td> <td>55</td> <td>100</td> <td>60</td> <td>100</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>270</td> <td>600</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>1,080</td> <td>2,400</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>1,118</td> <td>2,455</td> <td>1,700</td> <td>1,660</td> <td>1,700</td> <td>1,660</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>回</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>件</td> <td>18</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>回</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>39,376</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>人</td> <td>239</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業費	単位	年度							23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	投入量	国庫支出金	千円							都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	38	55	100	60	100	60		事業費計(A)	千円	38	55	100	60	100	60		正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4		延べ業務時間	時間	270	600	400	400	400	400		人件費計(B)	千円	1,080	2,400	1,600	1,600	1,600	1,600		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,118	2,455	1,700	1,660	1,700	1,660	⑤活動指標	ア	回	0	2	3	4	5	5	イ	件	18	50	50	50	50	50	ウ	回	0	2	2	2	2	2	⑥対象指標	カ	人	39,376	—	—	—	—	—	キ							ク							⑦成果指標	サ	人	239	800	850	800	850	800	シ							ス						
事業費	単位			年度																																																																																																																																																																						
		23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																																			
投入量	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																								
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																								
	地方債	千円																																																																																																																																																																								
	その他	千円																																																																																																																																																																								
	一般財源	千円	38	55	100	60	100	60																																																																																																																																																																		
	事業費計(A)	千円	38	55	100	60	100	60																																																																																																																																																																		
	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																		
	延べ業務時間	時間	270	600	400	400	400	400																																																																																																																																																																		
	人件費計(B)	千円	1,080	2,400	1,600	1,600	1,600	1,600																																																																																																																																																																		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,118	2,455	1,700	1,660	1,700	1,660																																																																																																																																																																		
⑤活動指標	ア	回	0	2	3	4	5	5																																																																																																																																																																		
	イ	件	18	50	50	50	50	50																																																																																																																																																																		
	ウ	回	0	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																		
⑥対象指標	カ	人	39,376	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																		
	キ																																																																																																																																																																									
	ク																																																																																																																																																																									
⑦成果指標	サ	人	239	800	850	800	850	800																																																																																																																																																																		
	シ																																																																																																																																																																									
	ス																																																																																																																																																																									

事務事業ID	0901	事務事業名	博物館教育普及事業
--------	------	-------	-----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和58年、新館開館の翌年から、各種普及事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	自然観察・体験学習は隔年開催にし、参加者のニーズに応じている。生涯学習相談・専門研究対応はその都度相談を受け付けて回答している。各種実務体験(博物館実習・職場体験・社会体験等)は、希望者を受入れている。博物館講座(成人大学講座)は、中央公民館・図書館と連携して平成2年度から実施している。「博物館スクール」は平成2年度から開始し毎年4~6回実施しているが、平成20年度に初めて社会・理科両コース利用の学校があった。博物館交流は平成14年度から開始し、毎回参加者が多く好評である。博物館職員の派遣は、要請に応じて行っている。収蔵資料の特別利用への対応は、毎年約10件ある。個人所蔵資料燻蒸サービスは平成11年度から開始し、毎年数件受け付けている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・成人大学講座の受講生から、博物館講座については歴史・民俗分野の講師を望む声が多く、また、美術関係の講座も組み入れて欲しいとの要望がある。 ・博物館交流の参加者から、バスで県内の博物館を訪問する形の博物館交流事業の継続実施を望む声が多い。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 普及事業への参加は、主体的な学習活動に直結する。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 市の生涯学習施設である博物館が、普及事業を通して市民の主体的な学習活動を支援することは、市の施策としてふさわしい。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 募集定員に満たない事業は、あるべき水準との差異がある。事業内容に関する市民ニーズの把握不足や事業実施に関する情報提供の不足が主な要因である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 専門的な生涯学習の機会が少なくなり、市民の学習活動への支援に支障をきたす。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) 市民生活環境課の環境保全啓発事業では、小中学生を対象とした水生生物調査が行われている。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 市民生活環境課の水生生物調査は環境保全、博物館の自然観察は動植物の学術的観察がそれぞれ目的であり、相違があることから統廃合できない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 自然観察・体験学習は隔年開催にするなど、事業費の削減を図っている。体験学習等で費用がかかる場合には、参加費を設定し徴収している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 費用を最小限にして市民の学習興味を喚起するためには、事業内容の工夫などに専門職員(学芸員)等の相当な人手と時間がかかることはやむを得ず、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 体験学習・交流事業等で参加費用がかかる場合には実費を負担してもらっている。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>東日本大震災の影響で博物館スクール、博物館講座(成人大学講座)の実施が無かったこと等により、普及事業への参加者数は減少した。博物館交流は、遠野市立博物館と協力してバスツアー「とおの文化めぐり～博物館・ひなまつり・昔話～」を実施し、定員一杯の参加者が、学芸員の分かりやすい解説を聞きながら遠野の文化に触れることができ、好評だった。「博物館であそぼう! 紙粘土工作会」には、多数の参加者があり、博物館資料への理解促進が図られた。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察として「地質観察会」、体験学習として県内博物館が開催している「体験学習会」を実施する。</li> <li>・東日本大震災により被災した資料を含む個人所蔵資料の燻蒸サービスを行い、資料保存のあり方と博物館活動の普及に努める。</li> </ul>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の参加者募集について、対象の小中学校に集中して周知するなど、より積極的な情報提供を行うことで、一層の成果向上を図る。</li> </ul>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	博物館長	
-------	------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>東日本大震災後の現状では、概ね妥当な事務事業執行がなされている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>当面は震災復興の動向に伴う市民の学習ニーズをみながら、継続して事務事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------